

# 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

研究機関名： 弘前大学大学院医学研究科

消化器外科学講座

研究責任者： 原 裕太郎

当院では患者さんの試料・情報を利用させていただき、下記の臨床研究を弘前大学大学院医学研究科倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

本研究への協力を望まれない患者さんは、下記連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

**臨床研究名称** 胃切除前後における胃由来デクレチン候補分子の探索と糖代謝改善機構の解析

## 研究の目的

胃は消化に関わる臓器であるとともに、グレリンやソマトスタチンなど多くのホルモンを分泌する内分泌臓器もあります。本研究では、胃から分泌されるインスリン抑制因子（デクレチン）の存在の発見を目的としております。デクレチンとは、体が「インスリンを出しすぎないように調整するための物質」です。インスリンを増やす働きのホルモン（インクレチン）がある一方で、デクレチンはその逆に、必要以上にインスリンが出ないようにブレーキをかける役割を持っています。胃切除前後の患者さんの血液および切除標本を解析することで、手術後に血糖値が改善する仕組みを明らかに致します。

**研究実施期間** 実施許可日～2031年3月31日

**対象となる方** 2024年4月1日～2030年3月31日までの間、弘前大学医学附属病院で胃切除手術を受けられた方

## 利用させていただきたい試料・情報について

手術で得られた余剰組織（診断や治療に使用されない部分）および、術前・術後に採取された血液検体を用いて解析を行います。検体は仮名化したうえで、質量分析法やELISA法により胃ホルモン・ペプチドの変動を測定します。当院のカルテに記録されている情報のうち、既往歴や血液検査データについて、標記研究のために利用します。

## 外部への試料・情報の提供

なし

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合は下記へご連絡ください。患者さん／その代理人の方から、試料・情報の利用停止を求める申し出があった場合は、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

|       |  |
|-------|--|
| 本件連絡先 | 弘前大学医学部附属病院 消化器外科、乳腺外科、甲状腺外科 原裕太郎<br>電話番号 0172-39-5079 (内線：4740) |
|-------|--|